

第2章 真岡市の概要

1 真岡市の現況

(1) 位置・地勢

ア 位置

- 真岡市は、北緯 36 度、東経 140 度の栃木県の南東部に位置し、東京から約 90 k m 圏内に属しています。市の北側は宇都宮市、芳賀町、市貝町、南側は茨城県筑西市、東側は益子町、茨城県桜川市、西側は小山市、下野市、上三川町に接しています。
- 市の区域は、東西に約 15 k m、南北に約 20 k m と南北にやや長く、面積は 167.34 k m² となっています。



真岡市役所の位置

所在地	真岡市荒町 5191 番地
東 経	140° 00' 47"
北 緯	36° 26' 25"
海 抜	65.5m

イ 地勢

- 関東平野の北部に位置し、全域的に平坦な地形で、東に連なる八溝山地、また西に流れる鬼怒川をはじめとして、五行川、小貝川などの河川が流れ、その流域には肥沃な農地が広がっている自然豊かな都市です。

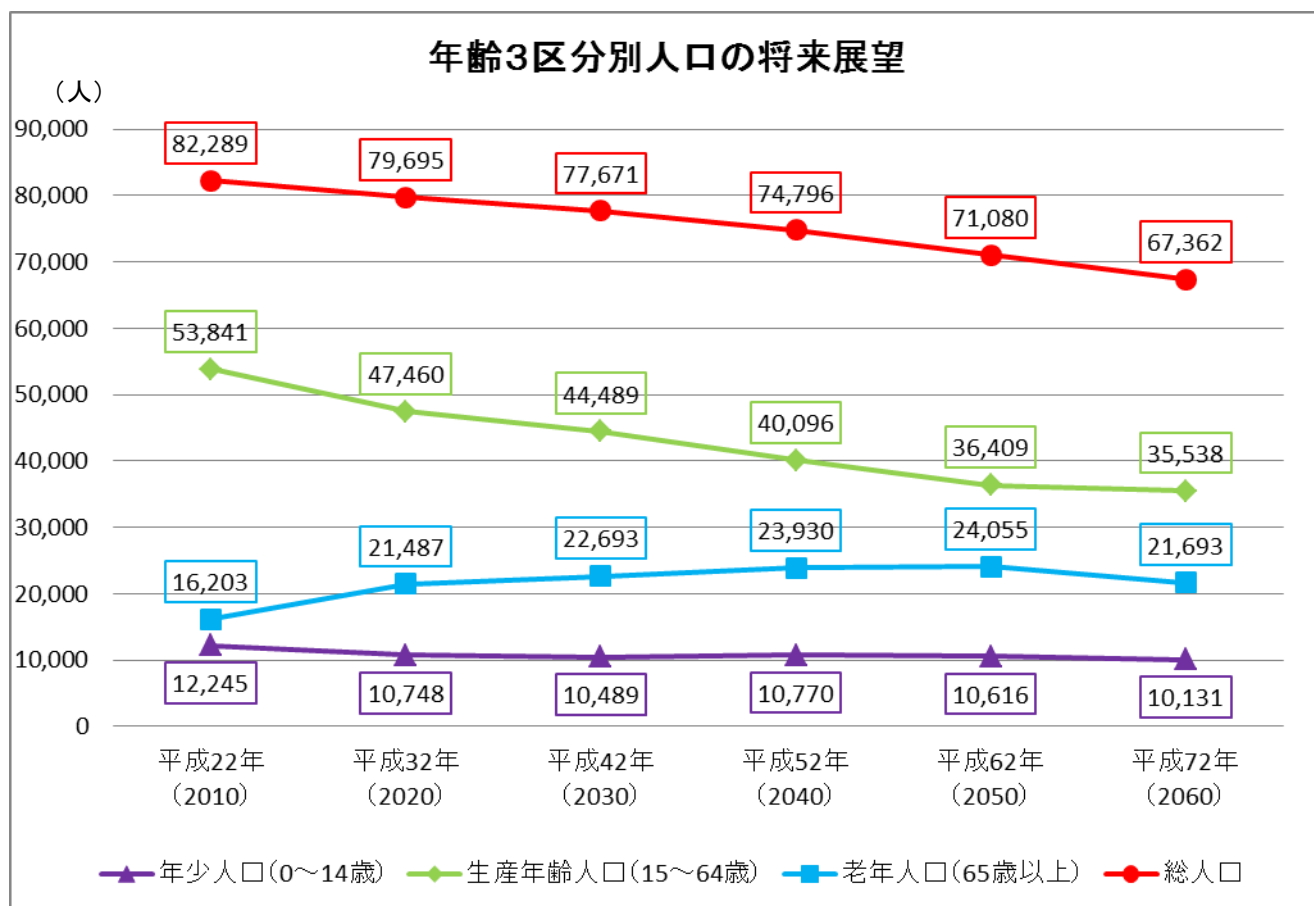
真岡市の動き

時代	西暦	年号	真 岡 の 動 き
明治	1889	明治 22	町村制が施行されて、真岡町・久下田町・山前村・大内村・中村・長沼村・物部村が誕生
	1912	" 45	真館線（真岡線 真岡―下館間）が開通
大正	1918	大正 7	真岡―宇都宮間の定期バスが運行
	1920	" 9	真岡線 真岡―茂木間が開通
昭和	1954	昭和 29	真岡市（真岡町・山前村・大内村・中村）、二宮町（久下田町・長沼村・物部村）誕生
	1988	" 63	真岡線 第3セクター方式による運行を開始
平成	2009	平成 21	新真岡市（真岡市・二宮町）誕生
	2010	" 22	真岡市地域公共交通総合連携計画を策定
	2011	" 23	デマンドタクシー「いちごタクシー」運行
	2013	" 24	コミュニティバス「コットベリー号」運行

(2) 人口の動向

ア 年齢3区分別人口の将来展望

- 全体としては人口減少の傾向にありますが、交通弱者が多く含まれる65歳以上の老年人口は平成22年(2010年)に比較すると、平成32年(2020年)には約32.6%増加し、20,000人を超える見込みです。



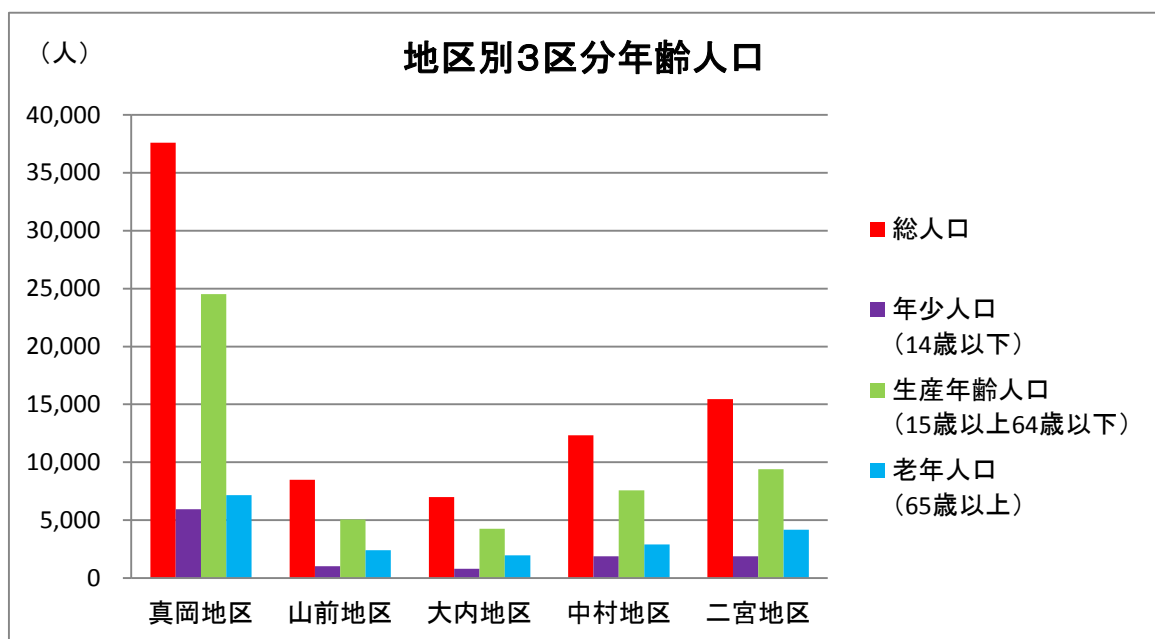
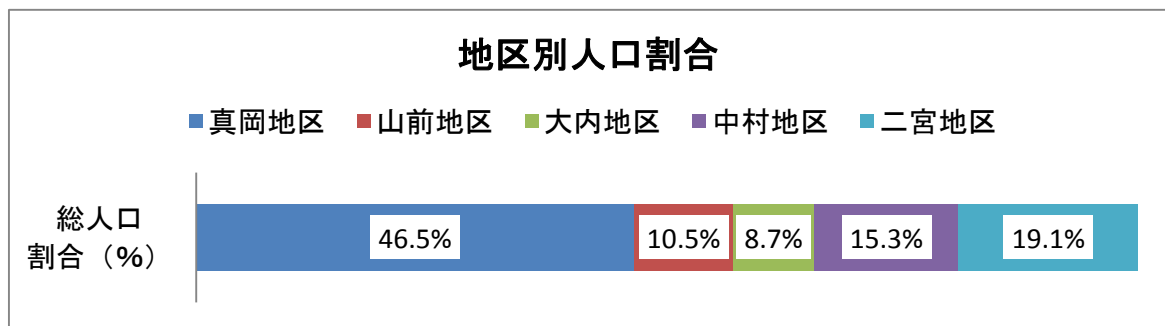
※真岡市人口ビジョンより

イ 地区別人口

- 地区構成は、真岡地区、山前地区、大内地区、中村地区、二宮地区の5地区からなっており、地区別の人口は、中心市街地を含む真岡地区が37,599人と最も多く、次いで二宮地区が15,442人となっています。

地区名	総人口	年少人口 (14歳以下)		生産年齢人口 (15歳以上64歳以下)		老年人口 (65歳以上)	
真岡地区	37,599人	5,929人	15.8%	24,516人	65.2%	7,154人	19.0%
山前地区	8,471人	1,015人	12.0%	5,064人	59.8%	2,392人	28.2%
大内地区	7,002人	797人	11.4%	4,245人	60.6%	1,960人	28.0%
中村地区	12,333人	1,882人	15.3%	7,565人	61.3%	2,886人	23.4%
二宮地区	15,442人	1,872人	12.1%	9,405人	60.9%	4,165人	27.0%
合 計	80,847人	11,495人	14.2%	50,795人	62.8%	18,557人	23.0%

※住民基本台帳人口（H27.4.1現在）



ウ 地区別高齢者（70 歳～89 歳）人口の推移

- 平成 42 年（2030 年）には、地域公共交通の主な利用者層である 70 歳～89 歳の人口が、平成 27 年のおよそ 1.4 倍にまで増加する予測結果となっています。真岡地区では、1.6 倍にも達する一方、二宮地区では 2 割強増加の見込みです。
- 地域によっては、70 歳～89 歳の高齢者が大幅に増加することが見込まれる地域もあり、亀山、高勢町、長田などでは、2 倍前後の増加（人口では数百人規模の増加）が予想されます。

地 区	H27 年 (2015)	H32 年 (2020)		平成 37 年 (2025)		平成 42 年 (2030)		平成 47 年 (2035)		平成 52 年 (2040)	
	人 口	人 口	H27 比	人 口	H27 比	人 口	H27 比	人 口	H27 比	人 口	H27 比
真岡地区	4,394	5,544	126%	6,606	150%	7,126	162%	7,182	163%	7,198	164%
山前地区	1,498	1,702	114%	1,939	129%	2,021	135%	1,946	130%	1,722	115%
大内地区	1,235	1,413	114%	1,607	130%	1,668	135%	1,596	129%	1,444	117%
中村地区	1,781	2,163	121%	2,516	141%	2,606	146%	2,427	136%	2,178	122%
二宮地区	2,831	3,010	106%	3,353	118%	3,505	124%	3,421	121%	3,148	111%
市 全 体	11,739	13,832	118%	16,021	136%	16,927	144%	16,573	141%	15,690	134%

- 住民基本台帳人口（平成 27 年 4 月 1 日現在）の、町丁目別年齢別人口を基に、将来の町丁目別人口動向を予測しました。特に交通弱者として地域内公共交通を利用する機会が多い傾向にある 70 歳～89 歳の将来人口に着目しました。
- なお、将来人口は UIJ ターンに関する施策、コンパクトシティ施策などの影響によって、大きく異なる可能性があります。
- 予測の方法は以下のとおりです。
 - ・平成 27 年 4 月 1 日現在の市内町丁目別年齢別人口を 5 歳階級、男女別に集計する。
 - ・国立社会保障・人口問題研究所が市町村別将来人口推計に用いている真岡市の 5 年後生残率（5 年後に死亡せず生きている人の比率）を用い、5 年ごとの推計人口を平成 52 年まで算出する。
 - ・人口の移動は考慮しない。
 - ・市内全域に共通の生残率を適用する。

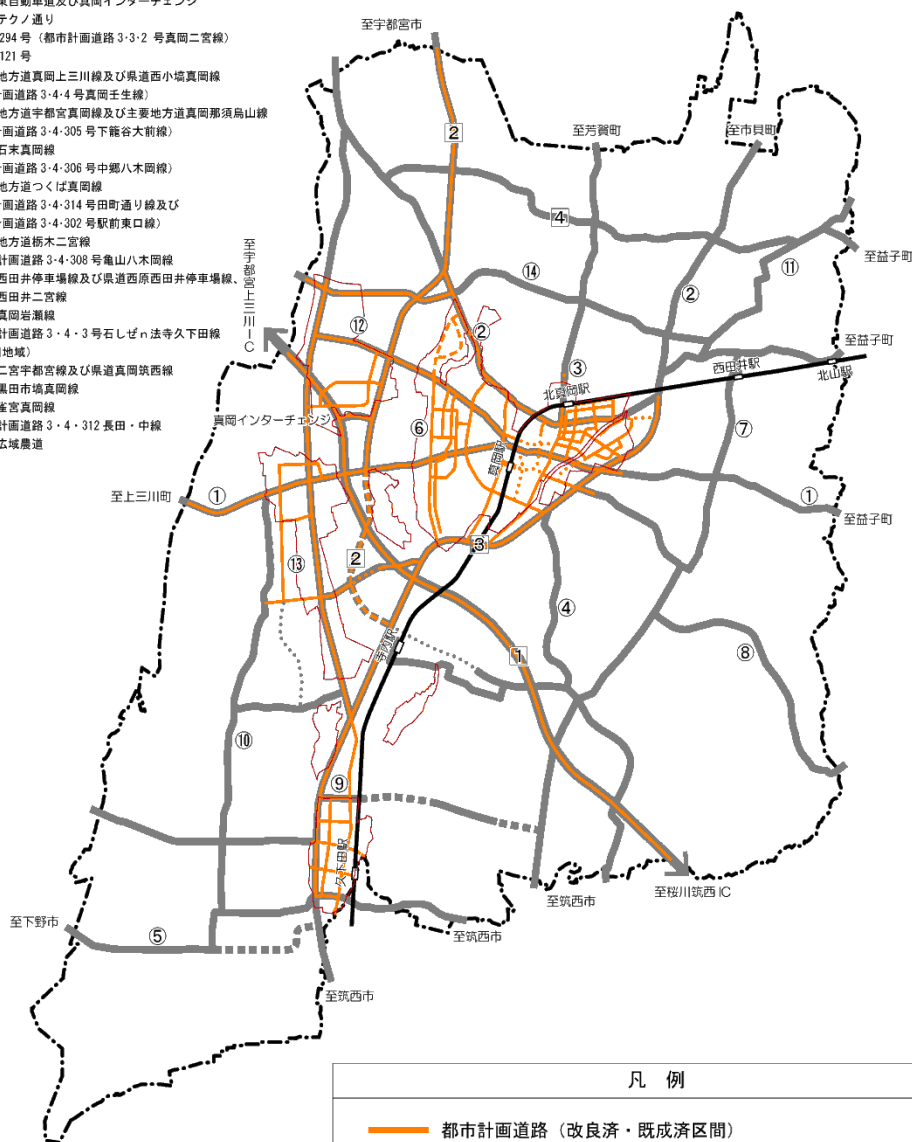
(3) 道路・交通

ア 主要道路網（高速道路、国道、県道）

- 北関東自動車道が市域の中央部を横断し、真岡インターチェンジ（以下「真岡 I C」という。）は市西部の工業地区に位置しています。
- 国道は北部を横断している 121 号、南方から東へ 294 号、西部を縦断している 408 号、真岡 I C へのアクセスでもある 408 号鬼怒テクノ通りがあります。
- 県道は、市中心部から放射状に整備されています。

交通ネットワーク方針図

- ①北関東自動車道及び真岡インターチェンジ
- ②鬼怒テクノ通り
- ③国道 294 号（都市計画道路 3・3・2 号真岡二宮線）
- ④国道 121 号
- ①主要地方道真岡上三川線及び県道西小境真岡線
（都市計画道路 3・4・4 号真岡壬生線）
- ②主要地方道宇都宮真岡線及び主要地方道真岡那須烏山線
（都市計画道路 3・4・305 号下龍谷大前線）
- ③県道石末真岡線
（都市計画道路 3・4・306 号中郷八木同線）
- ④主要地方道つくば真岡線
（都市計画道路 3・4・314 号田町通り線及び
都市計画道路 3・4・302 号駅前東口線）
- ⑤主要地方道栃木二宮線
- ⑥都市計画道路 3・4・308 号亀山八木同線
- ⑦県道西田井停車場線及び県道西原西田井停車場線、
県道西田井二宮線
- ⑧県道真岡岩瀬線
- ⑨都市計画道路 3・4・3 号石しげ n 法寺久下田線
（久下田地域）
- ⑩県道二宮宇都宮線及び県道真岡筑西線
- ⑪県道黒田市場真岡線
- ⑫県道雀宮真岡線
- ⑬都市計画道路 3・4・312 長田・中線
- ⑭芳賀広域農道



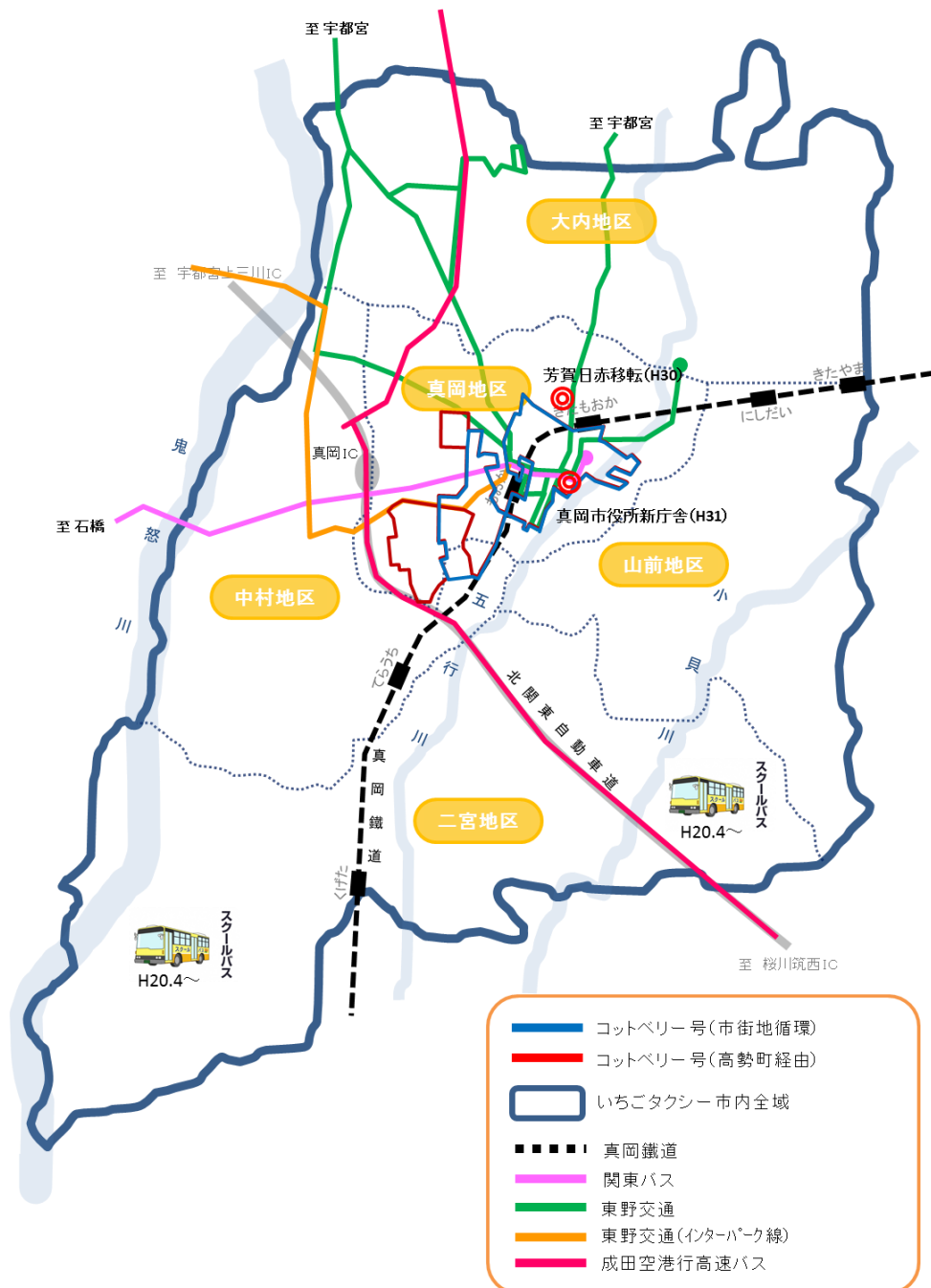
凡 例	
—	都市計画道路（改良済・既成区間）
---	都市計画道路（事業中区間）
.....	都市計画道路（未改良区間）
—	主要道路
---	主要道路（事業中区間）
.....	主要道路（未改良区間）
	市街化区域
—	鉄道・駅
---	行政界

※真岡市都市計画マスタープランより

イ 公共交通網

- 公共交通は、連携計画に基づき運行している「いちごタクシー」と「コットベリー号」のほかに、基幹交通である真岡鐵道と生活バス路線があります。
- 真岡鐵道は、茨城県下館駅から茂木駅を結んでおり、市内に 6 駅があります。
- 生活バス路線は、東野交通（株）が真岡と宇都宮を結ぶ 4 路線、関東自動車（株）が真岡と石橋駅を結ぶ 1 路線を運行しています。平成 26 年 4 月からは、東野交通（株）が真岡からインターパークを経由して雀宮駅に行く路線の運行を開始しました。

また、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の開通により、平成 27 年 9 月からは、県内各地から成田空港へアクセスしている高速バスの経路が変更され、「真岡停留所」が真岡 IC 付近の長田地内に新設されました。



ウ 交通事故発生状況

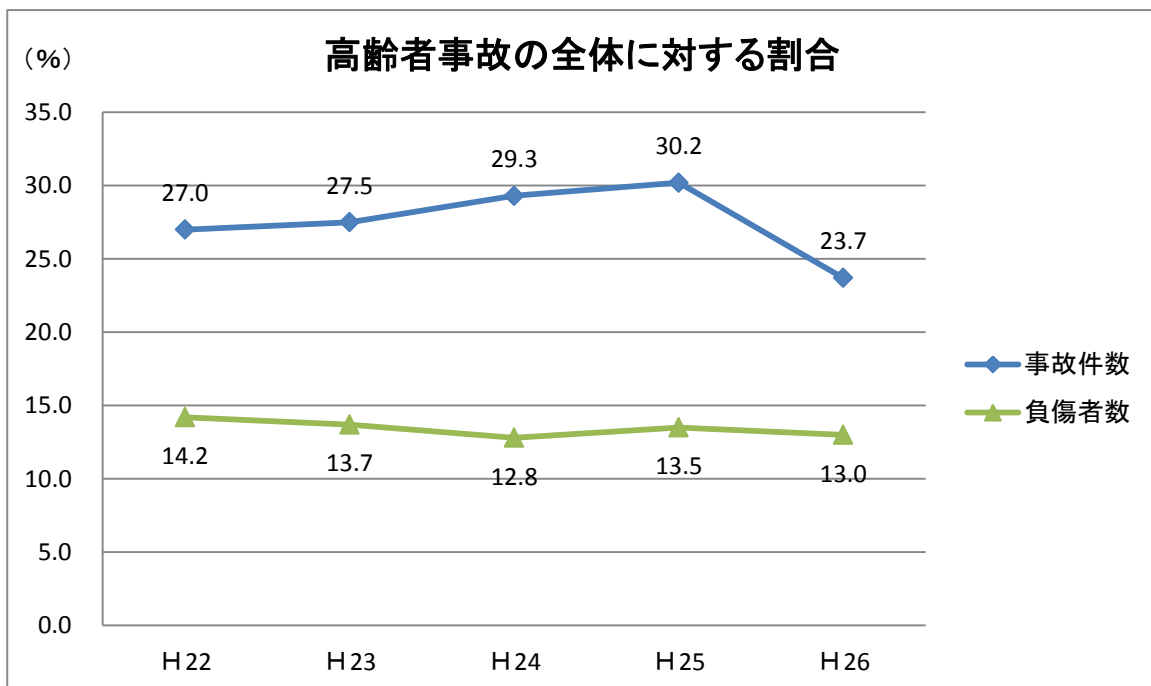
- 交通事故の発生は減少傾向にありますが、65 歳以上の高齢者が当事者となる事故件数や負傷者に占める高齢者の比率は高くなっています。

真岡市交通事故発生状況

年（1 月～12 月）	H22	H23	H24	H25	H26
件 数（件）	356 (96)	302 (83)	229 (67)	212 (64)	211 (50)
死亡者数（人）	4 (2)	5 (2)	1 (0)	10 (6)	4 (2)
負傷者数（人）	444 (63)	371 (51)	289 (37)	251 (34)	262 (34)

※（ ）内数字は、65 歳以上高齢者のうち数

※真岡警察署調べ



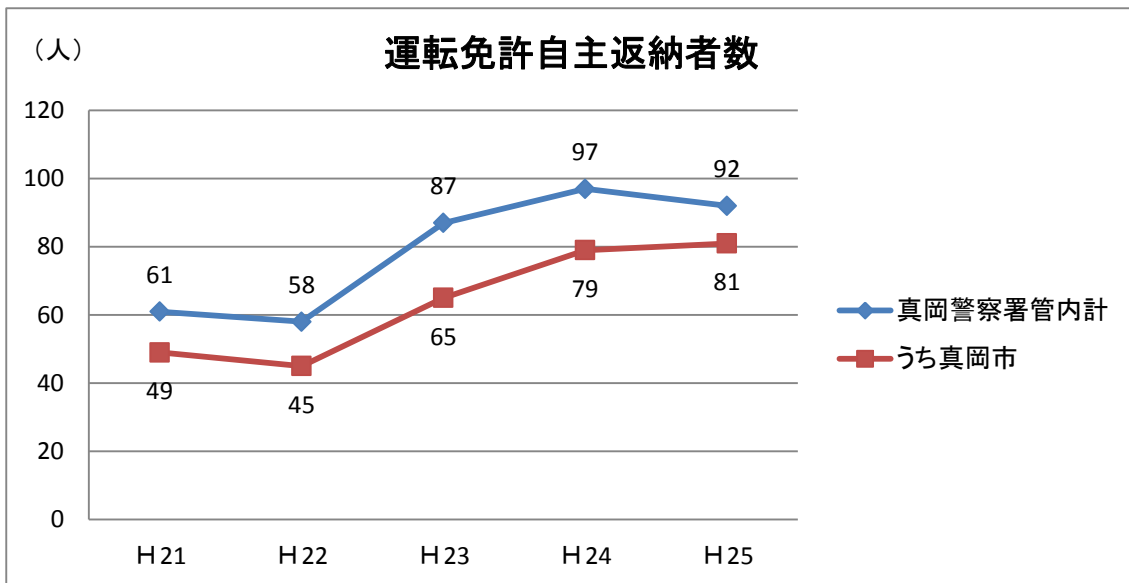
エ 運転免許の保有者数と自主返納者数

- 栃木県は、全国でも運転免許保有率（71.04%、全国4位）が高く、本市の運転免許保有率も70.5%となっています。65歳以上の免許保有者数は、高齢化の進行に伴い、さらに増加する見込みです。
- 運転免許の自主返納者数も増加傾向にあり、返納者のほとんどが65歳以上の高齢者となっています。

運転免許の保有状況（平成27年9月30日現在）

項 目	栃木県	真岡市
運転免許保有者数	1,403,052 人	56,787 人
65 歳以上の保有者数	309,895 人 (22.1%)	11,772 人 (20.7%)
75 歳以上の保有者数	88,519 人 (6.3%)	3,247 人 (5.7%)

※（ ）内は、運転免許保有者数に対する割合



※真岡警察署調べ

※運転免許自主返納制度

加齢に伴う身体機能や判断力の低下により、運転に不安を感じる方などが、自主的に運転免許証の取消し（全部取消し又は一部取消し）を申請することができる制度です。

有効期限内に運転免許証を返納し、その日から5年以内であれば、運転免許センター又は警察署へ申請することにより「運転経歴証明書」の交付を受けることができます。運転免許証と同様に身分証明書として用いることができます。

(4) 土地利用

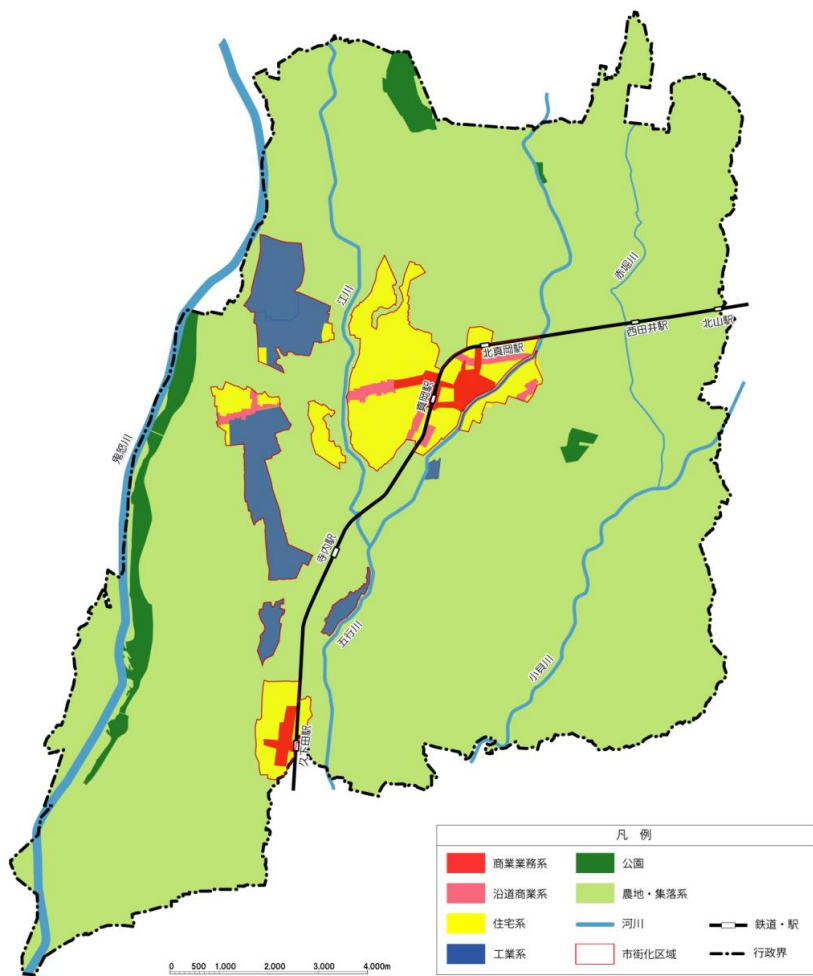
- 土地利用の状況は、田畑を合わせた農地が約 52%を占め、次いで宅地が約 14%、山林が 9%となっています。
- 市の西部には、工業団地が 5 か所整備されているほか、二宮地区にも産業団地が整備されています。
- 真岡地区や二宮地区（久下田）の中心市街地には、住宅、商業施設、医療機関、官公庁施設などが集積しています。
- 平成 30 年には、芳賀赤十字病院が、市の中心部からやや北部の中郷萩田地内に移転する予定です。
- 平成 31 年には、真岡市役所庁舎の建替が予定されています。

地目別土地面積

地 目	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	雑種地	その他	合計
面積（h a）	6,691	1,974	2,353	19	1,498	94	676	3,416	16,721
割 合	40.0%	11.8%	14.1%	0.1%	9.0%	0.6%	4.0%	20.4%	100.0%

※平成 26 年度版真岡市統計書より

土地利用方針図



※真岡市都市計画マスタープランより

(5) 都市計画の用途地域

- 都市計画については、全市域が都市計画地域に指定され、市街化区域は 1,678ha で約 10% を、また市街化調整区域は 15,043ha で約 90%を占めています。
- 市街化区域のうち大部分が住居系の用途地域で約 60%を占めており、次いで工業系が約 33%となっています。

都市計画区域の状況

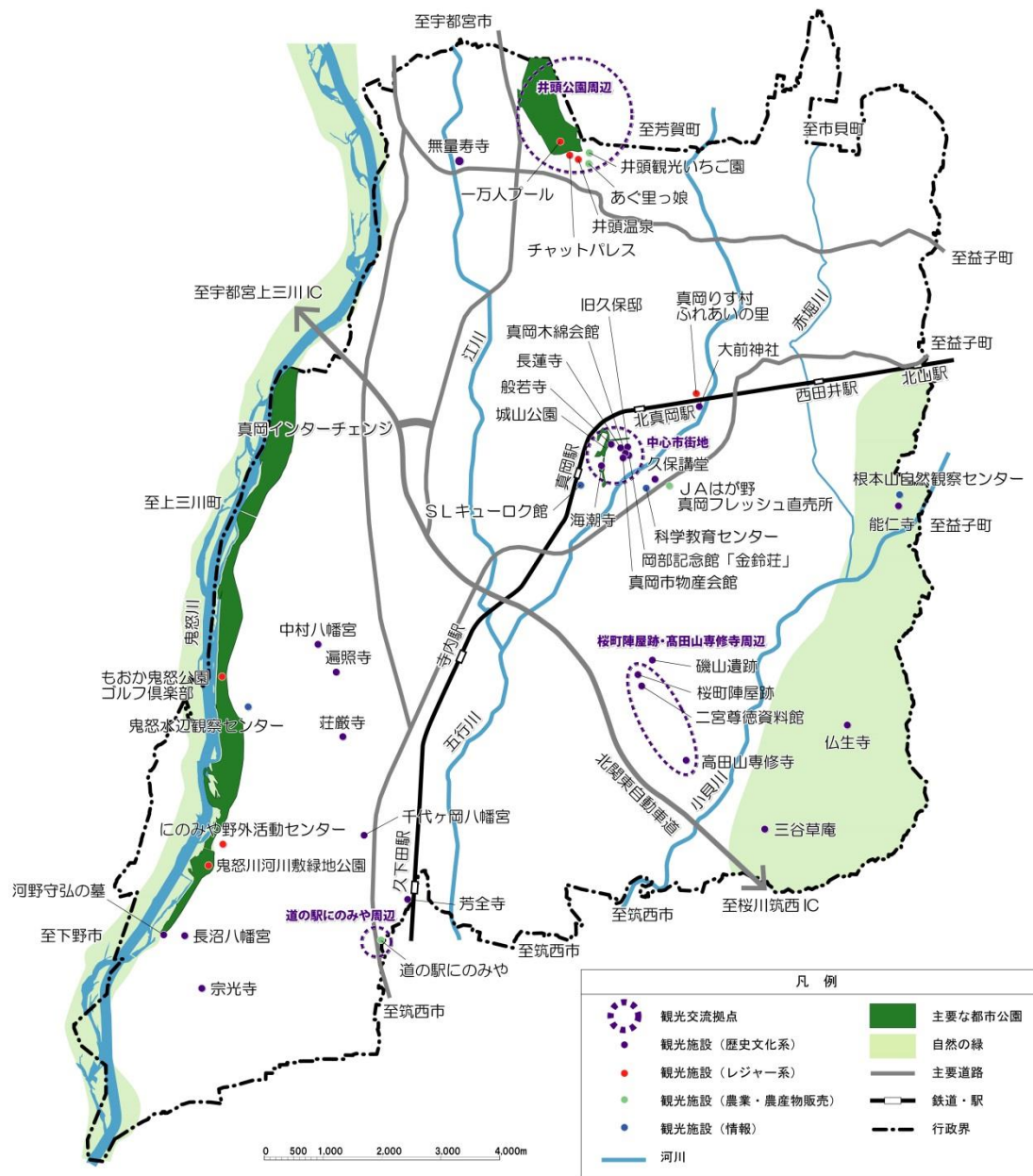
区 域	面積 (h a)	用途地域	面積 (h a)	構成比 (%)
市街化区域	1,678	第一種低層住居専用地域	232.8	13.9
		第一種中高層住居専用地域	237.1	14.1
		第二種中高層住居専用地域	144.8	8.6
		第一種住居地域	282.9	16.8
		第二種住居地域	100.3	6.0
		準住居地域	17.2	1.0
		近隣商業地域	71.5	4.3
		商業地域	38.2	2.3
		準工業地域	16.1	1.0
		工業地域	77.0	4.6
		工業専用地域	460.1	27.4
市街化調整区域	15,043			

※平成 26 年度版真岡市統計書より

(6) 観光

□ 市内には、真岡駅や門前地区周辺をはじめ、井頭公園周辺、桜町陣屋・高田山専修寺周辺、道の駅にのみや周辺など、数多くの観光資源があります。

観光まちづくり方針図



※真岡市都市計画マスタープランより

2 公共交通の現況

(1) 真岡鐵道

ア サービス水準

- ☐ 運行路線は茨城県下館駅と茂木駅を結ぶ、41.9km となっており、所要時間は最短で約 63 分です。
- ☐ 運行本数は、平日、休日ともに上り 26 本、下り 25 本となっており、通勤通学時間帯は 1 時間当たり 2 本、日中は 1 時間当たり 1 本運行しています。
- ☐ 運行時間は始発が 5 : 13 (真岡発 上り)、終電が 22 : 37 (下館発 下り) です。
- ☐ 平均駅間距離は約 2.6 km で、単線運転のため、行き違い駅の配置が運行間隔を決定する要因となっています。
- ☐ 初乗り運賃は 190 円、全区間で 1,030 円です。10 km 毎の運賃では、J R (地方路線) と比較すると 1.57 倍となっています。
- ☐ 市内から東京方面への移動については、主に次の経路を利用できます。
 - ① 下館駅—(J R 水戸線)—小山駅—(J R 宇都宮線又は東北新幹線)—上野駅
 - ② 下館駅—(関東鉄道常総線)—守谷駅—(つくばエクスプレス)—秋葉原駅
- ☐ 利用しやすいダイヤの改正、バリアフリーに対応した車両の導入のほか、各種フリー切符を発行するなど利用促進に努めています。

イ 輸送実績

- ☐ ここ数年は、1 日の平均利用者数は 3,000 人以下となっています。利用者の約 7 割が通学定期での利用となっておりますが、少子化の影響による高校生の減少に伴い、今後も利用者が減少していくことが予想されます。
- ☐ 通年で運行している S L は、年間利用者は 30,000 人を超えており、真岡鐵道の大きな魅力となっているとともに、沿線の地域振興や交流人口の増加に寄与しています。

真岡鐵道利用者数の推移

単位：人

年度	総乗車数	1 日平均	普通	定期			S L
				通勤	通学	小計	
H22	1,033,718	2,832	244,287	60,710	728,721	789,431	31,472
H23	990,314	2,713	221,636	45,002	723,676	768,678	26,994
H24	1,023,738	2,805	240,714	49,612	733,412	783,024	34,195
H25	1,028,861	2,819	236,362	52,013	740,486	792,499	31,087
H26	992,614	2,719	226,557	56,017	710,040	766,057	32,616

ウ 市の支援

- 平成 23 年度から 25 年度までは、東日本大震災による東京電力（株）から賠償金収入などにより、経営損失額が減少しましたが、平成 26 年度には経営損失額が増加し厳しい経営状況となっています。
- 真岡鐵道は、沿線住民の日常生活に不可欠な路線であることから、栃木県や茨城県及び沿線自治体と連携し、経営支援を行っています。

経営状況の推移（鉄道一般）

年度	営業係数	経営損失額（千円）	市負担額（千円）
H22	106.6	19,192	4,852
H23	112.9	8,234	2,082
H24	108.0	1,794	454
H25	110.8	11,382	2,867
H26	113.2	31,484	7,930

※営業係数

100 円の収入のために要した費用

(2) 路線バス

ア サービス水準

☐ 宇都宮東武行き 【事業者：東野交通（株）】

- ・石法寺経由が4系統あり、平日は1日約22往復、土日祝日は1日約15往復、運行しています。
- ・水橋経由は、平日が約5往復、土日祝日は4往復運行しています。

☐ JR石橋駅行き 【事業者：関東自動車（株）】

- ・平日と土曜は1日15往復、日祝日は1日12往復運行しており、真岡駅には石橋行きのみ停車しています。

☐ 雀宮駅行き（インターパーク経由） 【事業者：東野交通（株）】

- ・平成26年4月から、真岡～インターパーク～雀宮駅線の運行を開始しました。
- ・運行は、土日祝日のみで、真岡方面に運行しているのは、1日往復8便です。
- ・利用者は、1日当たり約10人前後です。

☐ バリアフリー化対策として、ノンステップバスが導入されています。

イ 輸送実績

☐ 利用者の約31%が定期利用者となっています。

☐ ここ数年の利用者数は横ばい状態です。

市内路線バスの輸送実績（H26.10.01～H27.9.30 運行分）

事業者名	路線名	起 点	主な経由地	終 点	キロ程 (km) 〔真岡市〕	所要 時間 (分)	運行 回数 (往復) イ	平均 乗車 密度 ロ	輸送量 (人) イ×ロ	輸送 人員 (人)	うち 定期 (人)
関 東 自動車	真 岡	石橋駅	上三川	真岡車庫	15.5 〔7.8〕	41	14.3	5.5	78.65	107,691	35,399
東野交通	(石法寺) 真 岡	宇都宮 東武	JR 宇都宮駅 石法寺	真岡 営業所	27.6 〔12.4〕	72	2.9	5.5	15.95	52,403	15,240
	(ベルモール・ 石法寺) 真 岡		JR 宇都宮駅 ベルモール 石法寺		29.0 〔12.4〕	81	13.4	4.1	54.94	213,058	65,280
	(芳賀日赤) 真 岡		JR 宇都宮駅 芳賀日赤 石法寺		27.9 〔14.7〕	72	3.9	3.1	12.09	43,491	19,920
	(亀 山) 真 岡		JR 宇都宮駅 亀山 石法寺		26.8 〔13.6〕	70	0.8	6.1	4.88	15,615	4,140
	(橋 場) 真 岡		JR 宇都宮駅 橋場		31.4 〔11.3〕	77	7.2	3.5	25.2	94,612	23,640
合 計										526,870	163,619

市内路線バスの輸送実績の推移

単位：人

年度	東野交通					関東自動車	計
	石法寺	石法寺 ベルモ	石法寺 芳賀日赤	亀山	橋場	石橋	
H22	257,482	—	38,732	6,888	81,920	110,580	495,602
H23	266,450	—	30,274	7,701	80,271	110,599	495,295
H24	254,091	—	34,625	11,411	93,661	108,936	502,724
H25	62,245	224,467	50,521	13,791	99,781	113,330	564,135
H26	52,943	181,948	49,498	16,184	106,182	114,950	521,705
H27	52,403	213,058	43,491	15,615	94,612	107,691	526,870

※運行期間はいずれの年も「10月1日～9月30日」

イ 市の支援

- 路線バスは、市民にとって、通勤、買い物など日常生活上必要な交通手段となっているため、生活バス路線の維持確保を図るため、国や栃木県、関係市町と協調して補助金を交付し、支援しています。

市内路線バスへの補助金の推移

年度	補助対象路線	補助金額（千円）
H22	・真岡～橋場経由～宇都宮線 ・真岡～石法寺・芳賀日赤経由～宇都宮線 ・真岡～亀山経由～宇都宮線	3,721
H23	・真岡～橋場経由～宇都宮線 ・真岡～芳賀日赤・石法寺経由～宇都宮線 ・真岡～亀山経由～宇都宮線	4,382
H24	・真岡～橋場経由～宇都宮線 ・真岡～芳賀日赤・石法寺経由～宇都宮線 ・真岡～亀山経由～宇都宮線	5,012
H25	・真岡～橋場経由～宇都宮線 ・真岡～芳賀日赤・石法寺経由～宇都宮線	1,637
H26	・真岡～橋場経由～宇都宮線 ・真岡～芳賀日赤・石法寺経由～宇都宮線	1,599

(3) タクシー

ア タクシー事業者

- ・芳南交通株式会社
- ・有限会社二宮タクシー
- ・潮田タクシー株式会社 真岡営業所

イ 運行状況

□ 輸送回数、輸送人員ともに年々減少傾向にあります。

年度	事業用自動車					輸送回数		輸送人員	
	延実在車数 (日車)	延実働車数 (日車)	延走行キロ (km)	1日1車当たり 走行キロ (km)	実働率 (%)	年間総数 (回)	1日平均 (回)	年間総数 (人)	1回平均 (人)
H22	17,124	12,942	1,777,750	137.4	75.5	155,048	425	217,439	1.40
H23	16,470	11,941	1,764,739	147.8	72.4	153,561	421	216,027	1.41
H24	18,104	12,745	1,874,967	147.2	70.0	157,377	431	221,549	1.41
H25	17,927	11,546	1,781,609	155.1	64.5	155,260	425	211,895	1.36
H26	16,187	10,162	1,710,610	168.3	62.9	146,870	402	201,780	1.37

(4) 福祉タクシー事業

ア 老人福祉タクシー

- ☐ 自動車を使用していない65歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯の方を対象に、基本料金分の利用券を月4枚、年48枚を限度して交付しています。
- ☐ 申請者数は微増傾向にあり、利用率はおおむね75%前後で推移しています。

老人福祉タクシー事業の推移

年度	申請者数(件)	交付枚数(枚) イ	利用枚数(枚) ロ	利用率 イ/ロ	助成金額(千円)
H22	664	29,876	22,543	75.5%	14,653
H23	692	31,368	23,762	75.8%	15,446
H24	691	31,492	23,850	75.7%	15,503
H25	715	32,316	22,889	70.8%	15,558
H26	723	33,264	25,093	75.4%	17,565

イ 障がい者福祉タクシー事業

- ☐ 身体障害者手帳1級・2級所持者、療育手帳A1・A2所持者、精神障害者保健福祉手帳1級・2級所持者の方を対象に、タクシーの基本料金の利用券を月4枚、年48枚を限度として交付しています。
- ☐ 申請者数は微増傾向にあり、利用率はおおむね50%前後で推移しています。

障がい者福祉タクシー事業の推移

年度	申請者数(人)	交付枚数(枚) イ	利用枚数(枚) ロ	利用率 イ/ロ	助成金額(千円)
H22	550	24,036	12,771	53.1%	8,313
H23	574	25,132	13,146	52.3%	8,564
H24	570	25,188	13,554	53.8%	8,828
H25	631	27,536	14,046	51.0%	9,167
H26	629	27,388	13,675	49.9%	9,577

(5) 高齢者等外出支援事業

- ☐ 在宅のねたきり高齢者等、介護を必要とする方の外出を支援するため、リフト付き車両及びビストレッチャー装着ワゴン車の利用料の一部を支援します。
- ☐ ねたきり高齢者（要介護４以上）、重度の身体障がい者（身体障害者手帳２級以上）、重度の知的障がい者（療育手帳Ａ、Ａ１、Ａ２）の方を対象に、タクシーの基本料金の利用券を月２枚、年２４枚を限度として交付しています。

高齢者等外出支援事業の推移

年度	申請者数（人）	交付枚数（枚） イ	利用枚数（枚） ロ	利用率 イ/ロ	助成金額（千円）
H22	55	916	514	56.1%	335
H23	61	1,174	581	49.5%	377
H24	61	952	366	38.4%	238
H25	72	1,226	391	31.9%	254
H26	62	1,210	551	45.5%	358

(6) 高齢者送迎バス

ア 高齢者井頭温泉送迎バス

- ☐ 高齢者（70歳以上）の井頭温泉利用を促進するため、送迎を無料で行っています。
- ☐ 年々利用者が減少しています。

高齢者井頭温泉送迎バスの利用状況

年度	利用者数（人）	運行回数（回）	1回当たりの 利用者数（人）	委託料（千円）
H22	592	130	4.6	1,843
H23	556	130	4.3	1,706
H24	525	130	4.0	1,679
H25	447	130	3.4	1,706
H26	414	125	3.3	1,890

イ 老人クラブ支援事業

- ☐ 老人クラブの活動支援のため、根本山老人憩の家や井頭温泉などへの送迎を無料で行っています。
- ☐ 年々利用者が減少傾向にあります。

老人クラブ支援事業（老人憩の家、真岡鐵道、井頭温泉、老人研修センター）

年度	利用者数（人）	運行回数（回）	1回当たりの利用者数（人）	委託料（千円）
H22	7,501	277	27.1	6,627
H23	7,595	282	26.9	5,464
H24	7,702	281	27.4	5,488
H25	7,098	282	25.2	5,386
H26	6,975	288	24.2	5,431

（7）スクールバス

ア 市内のスクールバス

- ☐ 平成20年4月から、二宮地区の長沼南小と長沼北小の統合、物部小高田分校の廃校により、スクールバスを運行しています。
- ☐ 平成30年4月に、山前地区の山前小に山前南小と東沼小が、中村地区の中村小に中村東小と中村南小が統合となるため、山前南小学校区、東沼小学校区、中村東小学校区、中村南小学校区についても、スクールバスの運行を検討しています。

平成27年度の運行状況

学校名	児童数（人）	対象児童（人）	運行車両	運行経費（千円）
長沼小	128	35	中型バス2台	22,043
物部小	207	72	中型バス3台	

イ 市外へのスクールバス

- ☐ 栃木県立益子特別支援学校や近隣の私立高等学校には、それぞれ市内から学校までのスクールバスが運行しています。

(8) 成田空港行き高速バス

- ☐ 平成 27 年 9 月から、県内各地から成田空港へアクセスしている高速バスの経路を変更し、真岡 I C 付近の長田地内に「真岡停留所」が新設され運行しています。

ア サービス水準

- ☐ 毎日往復 10 便（真岡経由のみ）運行しています。
- ☐ 運行経路は、「鹿沼インター～J R 宇都宮駅～柳田大橋～真岡～成田空港」となっています。
- ☐ 成田空港行きの始発は 5 : 05（真岡発）、真岡行きの最終は 19 : 35（成田空港発）となっています。